

朝来市は約1600箇所もの遺跡(埋蔵文化財)がある町です。また、史跡茶すり山古墳や池田古墳・城ノ山古墳、船宮古墳など、但馬を代表する王墓が集中しているところでもあります。

朝来市埋蔵文化財センターでは埋蔵文化財を適切に管理するとともに、調査研究を進め、その成果を一般に公開していきます。

また、土器づくりや勾玉づくりをはじめとする各種の体験教室など、埋蔵文化財を身近に感じていただける企画を用意しています。皆様のご来館を心からお待ちしています。



### 調査

市内の遺跡を保護するため、詳細に調査を行います。



### 整理

出土した遺物を洗浄・復元し、詳細な記録をとります。



### 展示・公開

調査した情報や遺物を市民に公開します。



### 収蔵

適切な温湿度管理のもとに保管収蔵し、未来へつなごう。

**開館時間** 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

**休館日** 月曜日(祝日の場合を除く)

祝日の翌日(土曜日、日曜日の場合を除く)  
12月28日～1月4日、その他臨時休館があります。

**入館料** 無料(企画展示・特別展示は有料の場合があります。)

**駐車場** バス1台、自動車21台



ASAGO ARCHAEOLOGY CENTER

朝来市埋蔵文化財センター

## 古代あさご館

〒669-5153 兵庫県朝来市山東町大月91番地2

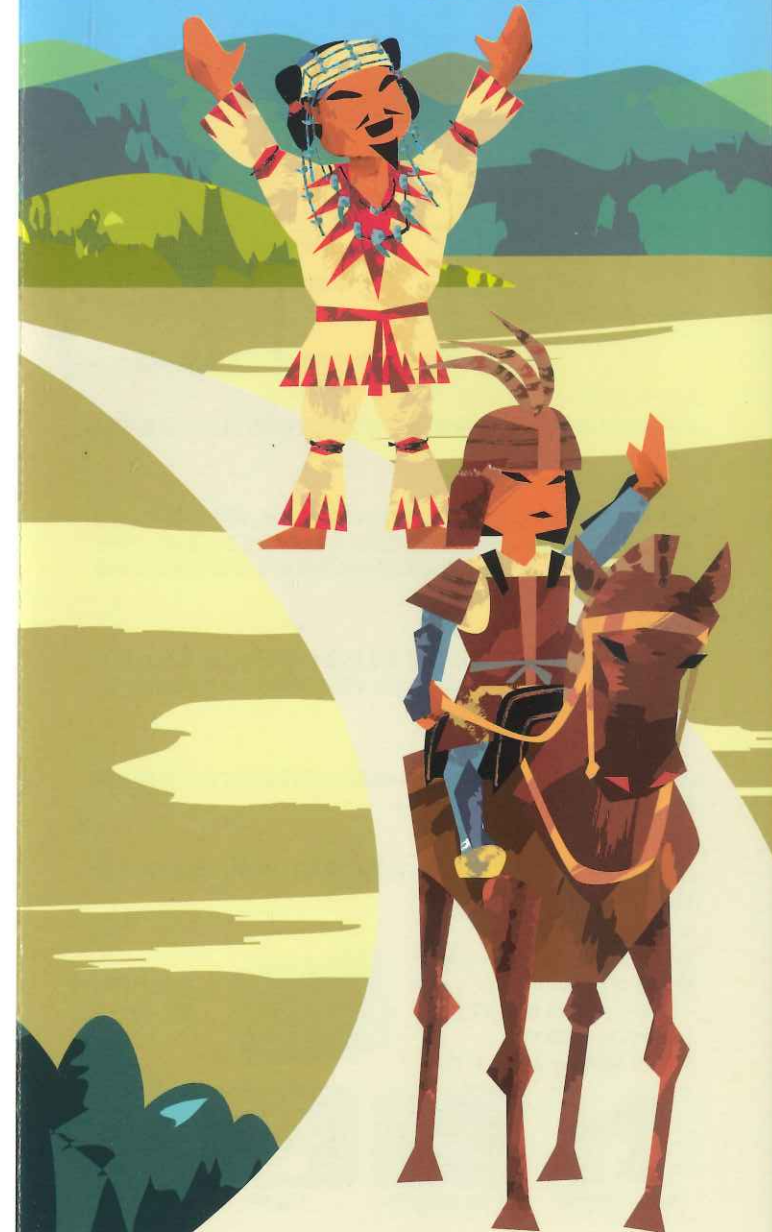
TEL 079-670-7330 FAX 079-670-7333

朝来市ホームページ <http://www.city.asago.hyogo.jp/>

ASAGO ARCHAEOLOGY CENTER

朝来市埋蔵文化財センター

# 古代あさご館





館内図



特別収蔵庫・一般収蔵庫

朝来市内から出土した遺物を、適正な温湿度管理のもとに収蔵管理します。

一般展示室

弥生時代に使われた土器や石器などの展示から、古代の暮らし振りを示します。また、戦いが恒常化したことによりムラをまとめるリーダーが出現したことや、まつりの形の変遷から但馬の王の誕生するまでの過程を辿ります。

特別展示室

常設展示では、朝来市域に存在する大型古墳から出土した遺物を中心に展示し、但馬の王の変遷を辿ります。時期によっては特別展、企画展を開催しています。

遺物整理室

発掘調査で出土した遺物を洗浄・記録し、使用されていた当時の状態に復元します。

写場・図写真収蔵庫

整理した遺物を図面や写真等に正確に記録し、後世に伝えるため適切に管理します。

体験学習

古代あさご館では、様々な体験教室を行っています。また、その一部はキットのみの販売(通販)も受け付けています。詳しくは当館ホームページで!



出来上がりが楽しみだね!!



ペーパークラフト

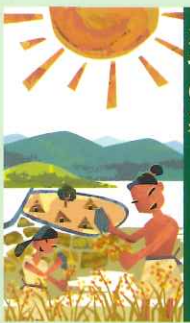


勾玉・勾玉ストラップ作り



土器作り

一般展示室



大昔の暮らし

今から二千年も昔のこと。弥生時代の人々は、ムラを中心に田畑で作物をつくって生活していました。



さまざまな形の土器



稲の穂摘み具(石包丁)



たたかひの時代



たたかひの道具 (環状石斧)

人々は、土地や貯えた食べ物をめぐって争いだしました。この争いは、権力をめぐる戦へと発展しました。



石鏃



ムラのリーダー

ムラを守るため、意見をまとめる人が現れました。



まつりの始まり

人々は、ムラの発展や安全を神に祈りました。まつりの道具のひとつとして銅鐸というカネが使われました。



時代の移り変わり

ムラがクニとしてまとまると、銅鐸も(聞くもの)から(見るもの)へと変化し、やがて銅鐸を使ったまつりは終わりを迎えました。銅鐸は埋められたり壊されたりしました。

特別展示室



但馬王の誕生

三世紀後半代、大和では地方の指導者よりも優位に立つ「大王」が誕生しました。但馬の指導者は、大和の大王と手を結び、力をつけ、但馬王となりました。当時はまつりや儀式で地域を支配しました。



王墓の副葬品(城ノ山古墳)



城ノ山古墳と池田古墳



武装した但馬王

但馬王は、大和の大王との関係を強めながら力を伸ばしていきました。もはや、まつりや儀式によって地域を治めるだけでなく、強大な武力で但馬地域を治めたのです。



茶すり山古墳



鉄の冑(茶すり山古墳)



但馬王の衰退

大和の大王は、但馬王の権力を弱めるため、その支配下の豪族に直接のつながりを持ちだしました。豪族たちは、大和の大王から与えられた武器を手にし、きらびやかな飾りをつけた馬に乗って権力を誇示しました。



小丸山古墳



金銅装馬具(春日古墳)



古墳時代から律令国家へ

わが国に仏教が伝わると、大和の豪族にならって但馬の豪族たちも寺院を建立しました。やがて、大和から但馬を管理する人が派遣され、大和朝廷による直接の地方支配が始まるとともに、古墳時代も終わりを迎えたのです。



軒丸瓦(釣坂遺跡)



軒丸瓦(法興寺跡)